



吉田診療所（昭和20年）

昭和20年、村民の熱意に打たれ、医師吉田^{よしだ ひろし}廣が本通2丁目南に吉田診療所を開院した。開村以来75年目にして初めて白石村に医療施設が誕生し、無医村状態を解消した。写真は、翌21年6月に撮影したものの。



上白石橋（昭和初期）

北海道炭鉱汽船株式会社は買収した上白石の農場を昭和2年に区画整理し、その分譲地と札幌市街を直結するため、コンクリート製橋脚の吊り橋を昭和5年に架けた。



第1回ふるさとまつり（昭和51年）

白石区の夏を彩る区民総ぐるみの祭典として、第1回ふるさとまつりが、歌に踊りにスポーツにと盛りだくさんの内容で始まった。当時の会場は区役所駐車場であった。



東橋の橋脚の一部流失（昭和24年）

東橋が明治23年に完成したことによって、札幌市街との往復が便利になった。その後、洪水など大水害により何度か流失し、特に昭和24年の洪水では橋の中央部すべてが流された。昭和26年に現在の上り線（上流側）が完成した。

西暦	年号	月	主な出来事
一九二六	大正一五	八	苗穂―苫小牧間の北海道鉄道が開通。村内に東札幌、月寒、大谷地、上野幌の駅ができる
二八	昭和三	七	瑞穂の池（現野幌森林公園内）をつくり農業用水に役立てる
三〇	三五	六	上白石橋完成
三二	三七	六	一級町村制が敷かれ白石村は一級村となる
三八	一三	十	白石に全国二番目の石炭杭爆発予防試験場を設置
四一	一六	二	定山溪鉄道の白石―東札幌間の旅客輸送を廃止
四四	一九	十	現区役所の位置に陸軍兵器補給廠ができる
四五	二〇	五	吉田診療所（本通二丁目南）が開所。七十五年間の無医村が解消される
五〇	二五	七	緊急開拓者が、東京から北郷、東米里に入植（拓北農兵隊）
五六	三一	五	札幌市に白石村全村が編入。村役場は札幌市白石支所となる
五八	三三	三	白石地区町内会連合会が設立される
六四	三九	三	白石遊廓廃止
六六	四一	三	この年から昭和四十一年まで、に北都団地を造成
六九	四四	三	白石中央墓地の移転始まる
七二	四七	四	定山溪鉄道路廃止
七三	四八	十	政令指定都市へ移行。白石区誕生
七六	五一	十	白石区の木と花を「ホッパ」、
八八	元平成一〇	三	「ハラ」に決定
八九	元平成一〇	三	国鉄千歳線が新路線に切り替え
九八	元平成一〇	三	地下鉄東西線開通
九九	元平成一〇	三	分区分区により白石区の東部が厚別区に
			白石区まちづくりビジョンを策定
			川下公園オープン